８月の短歌

ゆったりと翼を広げ飛び立ちし　　　　　岡　恵美子

　　　五位鷺凛と輝きて夏

早朝の緑田の面に低飛行の　　　 　　　山﨑　幸代

　　　薬剤散布の無人機の飛ぶ

外人は差別用語と教えられ　　　　　　　原　　敬子

　　　共に生きむと多文化学ぶ

喜雨の来て木々はみどりの色深む　　　　岩本ひろこ

　　　一日を帰省の孫と過せり